

バンドン市内有料道路計画【インドネシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課
 評価年月日 平成 29 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インドネシア
(2) 案件名	バンドン市内有料道路計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>バンドン市内において, 新たに有料道路を建設することにより, 道路輸送容量の拡大を図り, もって同市内の深刻化する交通渋滞の緩和を通じて, 同市内の民生向上ならびに投資環境改善に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事 ・資機材調達 ・コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日: 平成 23 年 7 月 19 日 イ 供与限度額: 136.05 億円 ウ 金利: 1.4% エ 償還(据置)期間: 25(7)年 オ 調達条件: 一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初, バンドン市における高速道路交通の需要予測では, 最大の区間で 28,300 台/日(2020 年)になると見込まれており, 同都市圏の人口は, 2007 年時の 790 万人から 2025 年には 1,230 万人(年平均増加率約 2%)に増加すると予測されていた。現在においても人口は増加傾向(850 万人/2015 年)にあり, それに伴う高速道路交通の需要増加が引き続き見込まれることから, 現在も本事業に関する社会的ニーズは変わらない。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>建設予定区域の用地取得遅延によって, 事業が開始されていないが, 実施機関である公共事業・公営住宅省が, 早期の用地取得を西ジャワ州に働きかけており, 今後用地取得が進捗すれば, 2020 年頃までに完了する見込み。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られず, 事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれているため, 事業開始を妨げている用地取得の問題が未解決ではあるが, 用地取得状況を慎重にフォローしつつ, 本事業を継続する。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・そのほか国際協力機構から提出された資料